

## 北陸石仏の会 第69回例会

# —加賀逆立ち狛犬めぐり—

令和7年10月19日(日)

参 加 費：会員7500円、会員外8500円

集合場所：金沢駅西口・・・午前9時00分(午後3時頃解散予定)

中型バス利用、20名募集。

申込方法：次の事項を記入の上、ハガキでご連絡ください。

住所、氏名、電話番号(携帯電話も)、集合場所

※集合場所および時間が不都合な方はご連絡下さい。

申 込 先：〒939-1315 砺波市太田 1770 尾田武雄方 北陸石仏の会事務局

締め切り：令和7年9月25日(木) ※募集人数に達し次第締め切ります。

案 内：滝本やすし(石川県金沢市)

昼 食：コース途中の公園で、雨天時はバス車内。昼前に買い物できます。

### 見学予定

◎金沢市天神町 椿原天満宮／原型、安政6年、石工：松田七佐工門

◎金沢市東御影町 卯辰神社／原型、慶応3年(推定)、石工：油屋佐兵衛

◎金沢市増泉 春日神社／金沢型、明治15年

◎金沢市寺町 諏訪神社／金沢型、明治22年、石工：由野伊三郎

◎野々市市下林 薬師日吉神社／金沢型、明治28年、石工：福嶋伊之助

◎野々市市清金 清金中宮神社／発展型、大正4年、石工：相森幹太郎

◎白山市坂尻町 乙劔神社／金沢型、大正9年、石工：福嶋伊三次

◎白山市曾谷町 乙劔神社／金沢型、令和6年建て替え、石川石材商事(株)

諸事情により見学先を変更する場合があります。ご了承ください。

今回の例会は、加賀地方南部を中心に数多くみられる加賀逆立ち狛犬訪ねる。  
代表的石工の作例を造立年代順に辿る。造形の変遷を見ていただきたい。  
詳細な調査報告は、北陸石仏の会のホームページに掲載している。

①金沢市天神町 椿原天満宮／原型、安政６年、石工：松田七佐工門  
確認される最古の作例。逆立ちというよりも大空を滑空する飛翔獅子の姿である。  
令和６年元日の能登半島地震によって、左側の畔形が転落した。

②金沢市東御影町 卯辰神社／原型、慶応３年（推定）、石工：油屋佐兵衛  
上記に次ぐとみられる古い作例で、原型で現存するものはこれら２対のみである。  
令和６年元日の能登半島地震によって、右側の阿形が転落した。

③金沢市増泉 春日神社／金沢型、明治１５年  
金沢型の最古の作例。石工名は不明であるが、由野伊三郎と推測される。  
逆立ちする姿は、火消しの加賀鳶をヒントにしたと考えられている。

④金沢市寺町 諏訪神社／金沢型、明治２２年、石工：由野伊三郎  
石工名が確認される最古の金沢型逆立ち狛犬。  
由野伊三郎は由野石材店の前身で、金沢型の先駆者と考えられる。

⑤野々市市下林 薬師日吉神社／金沢型、明治２８年、石工：福嶋伊之助  
福嶋伊之助は、逆立ち狛犬の代名詞といわれるほど名の知れた名工。  
数多くの逆立ち狛犬を制作しており、緻密で力強い姿は今にも動き出しそうである。

⑥野々市市清金 清金中宮神社／発展型、大正４年、石工：相森幹太郎  
相森幹太郎は最も多くの逆立ち狛犬を手掛けた石工。自らを石匠と称する技量の持ち主。  
独特の表情と流れるような美しい毛並みが特徴的。逆立ち以外の狛犬も制作されている。

⑦白山市坂尻町 乙劔神社／金沢型、大正９年、石工：福嶋伊三次  
福嶋伊三次は、大正３年に伊之助の後を継いでいる。金沢型としては後期の石工。  
伊三次の制作期間はわずか８年ほどであるが、多くの逆立ち狛犬を手掛けている。

⑧白山市曾谷町 乙劔神社／金沢型、令和６年建て替え、石川石材商事(株)  
福嶋伊之助の晩年の逆立ち狛犬が建てられていた。  
令和６年元日の能登半島地震によって転落損壊、同年１０月に再建された。





①金沢市天神町 椿原天満宮／原型、安政6年



②金沢市東御影町 卯辰神社／原型、慶応3年(推定)



③金沢市増泉 春日神社／金沢型、明治15年



④金沢市寺町 諏訪神社／金沢型、明治22年



⑤野々市市下林 薬師日吉神社／金沢型、明治28年



⑥野々市市清金 清金中宮神社／発展型、大正4年



⑦白山市坂尻町 乙剱神社／金沢型、大正9年



⑧白山市曾谷町 乙剱神社／金沢型、令和6年建て替え